

国際会議から 材料の摩耗に関する国際会議 (WOM 2013)

本国際会議は、材料の摩耗や摩擦、いわゆるトライボロジーに関する会議です。第1回が1977年セントルイスで開催され、それ以降、カナダ、アメリカ合衆国の都市で隔年開催され、今回が19回目となります。今回の会議には、鉄道総研からは摩擦材料の宮内と久保田が参加しました。

本会議では、エロージョン摩耗、ベアリング、摩擦材料、しゅう動接点、転がり摩耗、バイオトライボロジー、金属高分子シミュレーション、鋳鉄などのセッションがありました。著者は摩擦材料のセッションで鋳鉄複合制輪子について発表を行い、「(相手材である)車輪踏面の摩耗はどのように考えるか?」などの質疑応答がありました。久保田(図1)はしゅう動接点のセッションでC/C複合材すり板についての発表を行いました。



宮内瞳
材料技術研究部
摩擦材料研究室
室長

各日のはじめに基調講演があり、ケンブリッジ大学のハッチング教授など著名な先生方の講演を聴くことができ、貴重な知見が得られました。

滞在中には、ポストンマラソンでテロ事件がありました。今回の開催都市のポートランドは治安も良く、市の中心部にトラムが整備されるなど(図2)、環境に優しい街づくりが印象的でした。



図1 久保田氏の発表の様子



図2 ポートランド市内のトラム

正式名称：19th International Conference on Wear of Materials

開催国：アメリカ合衆国(ポートランド)

期間：2013/4/14~18

主催：Elsevier

開催頻度：隔年

次回開催予定：2015年4月 カナダ(トロント)

URL：<http://www.wearofmaterialsconference.com/index.html>